**【別紙２】同価入札者がいる場合の落札者決定方法**

くじ番号による決定方法

1. 入札参加者はあらかじめ３桁以内の任意の番号（「０００」を除く「０」から「９」までの数字を３文字組み合わせたもの。）を入札書に記載する。

くじ番号の記載がない場合は「９９９」を割り当てます。

1. 同価入札者は、入札参加有資格者名簿の事業者番号の小さい者から順に０、１、２…と入札番号を割り振りします。
2. 同価入札者のくじ番号の合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。
3. 上記で得られた余りと、②で割り振られた入札番号が同じ者が落札候補者となります。

（例）（業者番号）　（会社名）　（入札金額）　　（くじ番号）　（入札番号）

　　　　　１　　　　　Ａ社　　　1,000,000円　　　１２１　　　　　０

　　　　　２　　　　　Ｂ社　　　1,000,000円　　　７４５　　　　　１

　　　　　３　　　　　Ｃ社　　　1,020,000円　　　３３３

　　　　　４　　　　　Ｄ社　　　1,050,000円　　　９６０

　　　　　５　　　　　Ｅ社　　　1,000,000円　　　５８１　　　　　２

　　　　　６　　　　　Ｆ社　　　1,050,000円　　　６２６

1. 同価入札者が３者（Ａ社、Ｂ社、Ｅ社）あるので、事業者番号の小さい者から順に０、１、２と入札番号を割り振ります。
2. 同価となっている入札参加者のくじ番号の合計を算出します。

　合計＝１２１（Ａ社）＋７４５（Ｂ社）＋５８１（Ｅ社）＝１，４４７

1. (2)により算出した合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。

１，４４７÷３＝４８２余り１→　余りの数１

1. 上記で得られた余りと、入札番号が同じＢ社が落札候補者となります。
2. 仮に同価入札者が４者以上あった場合も、同様の手順により落札候補者を決定します。

　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　０ → 入札番号 ０ が落札

同価入札者が２者の場合、余りは 　　　　　　又は

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１ → 入札番号 １ が落札

０ → 入札番号 ０ が落札

同価入札者が３者の場合、余りは　　　　　 　１ → 入札番号 １ が落札

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ２ → 入札番号 ２ が落札